

話し言葉における接続詞「だって」の使用実態

フイ ハーリン
許 夏 玲

東京学芸大学留学生センター

hlhui@u-gakugei.ac.jp

1. はじめに

接続詞「だって」の意味機能は、従来の研究では「理由を述べる」、「相手の言葉に反対する気持を表したり、言い訳をしたりする」、「but,because,well」の英訳とされている。しかし、「だって」の本来の性格付け、日常の話し言葉における使用の実態、「だって」と共に現れる共起表現、音調などに関してはまだ十分に考察されていないと思われる。「だって」が話し手と聞き手の存在する対話場面においてどのように使用されているのかを構造の面から分析するだけでなく、語用論の観点から分析する必要がある。

2. 「だって」の分布について

メイナード(1992:183)では、「だって」の分布条件に次の3つの特色があるとしている。

- 1) 「だって」は文の代用表現(sentential anaphora)の作用域(scope)に入らない。
- 2) 「だって」の使用は、直接談話(direct discourse)に限られている。
- 3) 「だって」の使用には何からの既知情報を必要とする。

条件1)については、例(1)を用いて説明したい。

(1) A: だって全然話を聞いてくれなかったんだよ。

B: それは困ったなあ。

例(1)の「それ」は「全然話を聞いてくれなかった」ということを指示し、文の代用表現として用いられている。ここでは、「だって」は代用表現の作用域に入らない。これは、接続詞「だって」が話者の主観的な判断によって事実と事実の関連を示すものであるため、「命題内容」の一部ではないからである。

条件2)については、「だって」は話者自身の発話態度や感情を表すものであるため、今回の例文収集にあたって、新聞記事中の使用頻度がほとんど見られず、日常会話やシナリオの会話やインターネット google 検索の話し言葉の表現で「だって」が多く用いられていることがわかった。

条件3)については、例(2)を用いて説明したい。

(2)A: 今何時?

B: * だって 5時だよ。(メイナード 1992: 184)

例(2)において、一般に話者 A が今何時であるか知らないので、B に質問したと考えられる。A の質問に対し、B が提供する情報は未知情報であると考えられる。しかし、「だって」は話し手が相手にとっても知っているだろうと想定する情報を提示するときに使われるため、例(2)の「だって」の使用は不自然である。

3. 「だって」と共起する文末表現

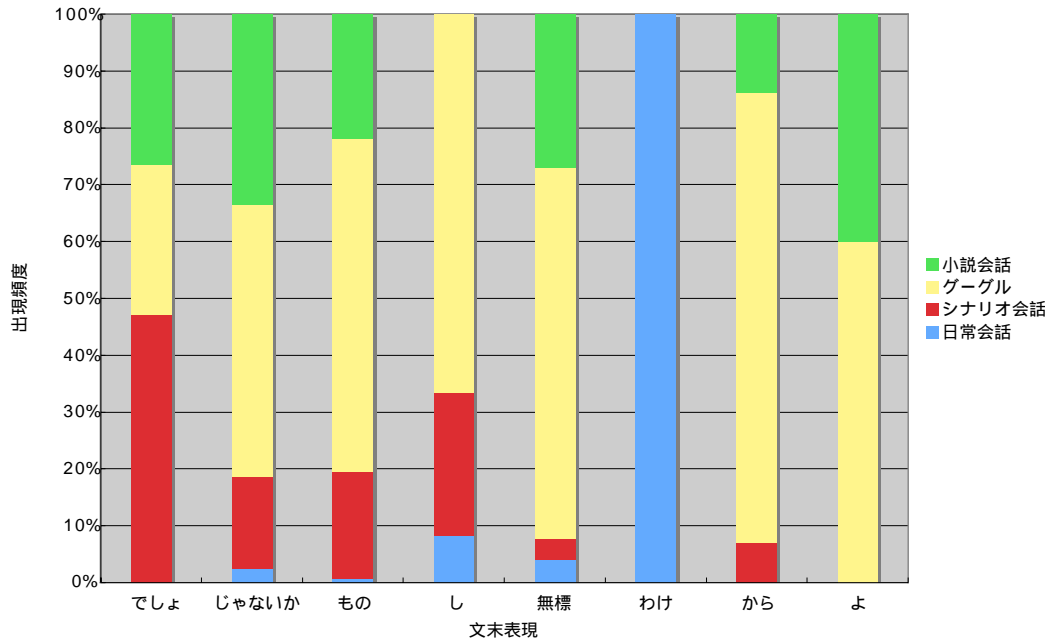
接続詞「だって」の意味機能は、従来の研究では「理由を述べる」、「相手の言葉に反対する気持を表したり、言い訳をしたりする」とされている。「だって」の談話機能をより明らかにするため、本稿では、日本語母語話者と日本語学習者の日常会話(9例) 小説の中の会話(176例) シナリオの会話(198例) およびインターネットの google 検索で収集した話し言葉の表現(164例) 合計 547例を基に、「だって」と共起しやすい文末表現を調べ、これらの文末表現の「だって」への性格付けの関与を分析した。「だって」とその共起しやすい文末表現は下記の表にまとめられる。

表 「だって」とその共起しやすい文末表現

| | でしょ | じゃないか | もの | し | 無標 | わけ | から | よ |
|--------|-----------|------------|-------------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 日常会話 | 0 (0%) | 3 (0.5%) | 2 (0.3%) | 1(0.1%) | 1(0.1%) | 1(0.1%) | 0 (0%) | 0 (0%) |
| シナリオ会話 | 34 (6.2%) | 21 (3.8%) | 48 (8.7%) | 3(0.5%) | 1(0.1%) | 0 (0%) | 2 (0.3%) | 0 (0%) |
| グーグル | 19 (3.4%) | 61 (11.1%) | 150 (27.4%) | 8(1.4%) | 17(3.1%) | 0 (0%) | 23(4.2%) | 21(3.8%) |
| 小説会話 | 19 (3.4%) | 43 (7.8%) | 56(10.2%) | 0(0%) | 7(1.2%) | 0 (0%) | 4(0.7%) | 14(2.5%) |

上記の表を見ると、接続詞「だって」と共起しやすい文末表現のうち、「でしょ」「もの」「じゃないか」といった自分の意見を主張するような表現が多く用いられていることがわかった。¹これらの文末表現のほか、「だって」は「し」「から」「よ」などと共に現れることがある。上記の表をグラフで示すと、次のような図になる。

図 「だって」と共起する文末



(3) 博: 三月か。兄さん出られるといいけどなあ

さくら: そうねえ

すみれ: 出てくれるかしら - -

さくら: どうして?

すみれ: **だって**、怒ってんだもん、私のこと

さくら: あ、大丈夫よ、この人みたら安心するわよ。(シナリオ)

(4) JJ: せんせいにね

CJ: なになにだよ(うん) ああ あの しつれ?

JJ: うん しつれ しつれ

CJ: ああ そうなんだ(うん) |むずかしい

JJ: ですますたい|つかつといたほうがいいよ **だって** ていねいなぶんにはいいじゃん(うん)

CJ: ね にほんじんの がくせいは(うん) あの しょうがっこうから(うん) あの がっこうぶんぼうで(うん)あの そんなけいごとか(うん) あの せんせいが おしえてくれたの (日常会話)

(5) さくら: お兄ちゃん、お兄ちゃん、本気で歌子さんの幸せを考えてないわね

寅: 何に、どうして、そんなこと言うんだ、お前!

さくら**だって**、歌子さんに、何日までも家にいて欲しいと言うのは、お兄ちゃんの気持ちでしょ。

さくら: それじゃ歌子さんの幸せなんじゃなくて、お兄ちゃんの方が幸せなんじゃないの! (シナリオ)

4. 「だって」の談話機能

接続詞「だって」は、助動詞「だ」と引用助詞「って」によってできたものと考えられる。話者が相手の言動をいったん受け止めて(相手にはっきり問われなくても相手に理由を知らせるべきだと判断する場合もある)相手の言動に対し、「どうしてか」という意味で相手にその理由を提示するときに「だって」が用いられる。

しかし、話し言葉において、「だって」は単なる「理由の提示」に用いるのではなく、場合によって「相手の言葉に反対する気持を表したり、言い訳をしたりする」ときにも用いられることがある。これは、前述のように、「だって」と共起しやい文末表現の意味機能による影響が残っているからであると考えられる。前掲の表の「だって」と共起しやい文末表現を見ると、話者が相手に同意をもらうため、正当性の高いと思われる理由（相手にとって知っているはずのこと）を相手に提示する「もの」「じゃないか」「でしょ」という文末表現が「だって」の性格付けと関与していると言えよう。

文末の「もの」の分類に関しては、「んだもの（んだもん）」は助動詞の「のだ」と「もの」によってできたものであると考えられる。「のだ」の前件内容は話者が既定事態として捉える場合でなければ、「のだ」は用いられない。「ものだ」は、真理、一般的に言われていること、本来の性質などについて、ある種の感慨をこめて述べるのに用いられる。一般的な性質として述べて、訓戒とすることもある。たとえば、(6)はその例である。

- (6) CJ:(UCAMのことについて)うん かおも みえるし(うんうん)うん でんわより あの べんり(うん)
だから やすいし
JJ: へえ そうなんだ ぜんぜんしらない
CJ: だから あまりでんわしない(うん)かぞくと
JJ: **だって** それがあつたら でんわみたいなもんだもんね
CJ: うん そうそうそう (日常会話)

(6)の「もん」は、話者が「もん」の前件内容を物事の本来の性質としてまだ十分に認識していない相手に提示して自分の理由の正当性を主張するときに用いられる。

一方、「じゃないか」は「ではないか(じゃないか)」のくだけた形である。会話で上昇調で発音された場合は「あなたもそう思いませんか」と聞き手に自分の考えを同意してもらうときに用いられる。これも話者の主張を強めることから相手との考えのずれがうかがえるし、「だって」と共に用いられると、相手の言動への反発というニュアンスが生じることがある。

このように、「だって」は話者が相手の言動から相手との間の認識にずれがあると判断し、相手を十分に認識させるため、正当性の高いと思われる理由（相手にとって知っているはずのこと）を相手に提示することによって、相手の認識のずれを変えようとするときに用いられると考えられる。

5.今後の課題

「だって」は接続詞と言うものの、同じ話し言葉の形として用いられる問いかけの「名詞だって?」、「名詞だって」のような表現との接点・意味機能の相違について調べたいと思う。

参考文献

- 野田春美.(1997).「の(だ)」の機能.くろしお出版.
メイナード・K・泉子.(1992).会話分析.くろしお出版.
横林宙世, 下村彰子.(1988).接続表現.6.荒竹出版.

ⁱ 本稿では「だろう」「でしょう」は「でしょ」「じゃん」「じゃない」「じゃねえか」「じゃないの」は「じゃないか」「もん」は「もの」と同じ分類であると考え。表に示されている文末表現は上位順で現れたものである。